

2015年12月21日

各位

株式会社ジェネティックラボ

抗体アレイによるタンパク質発現量同時測定 受託サービス開始に関するお知らせ

トランスジェニックグループの(株)ジェネティックラボ(代表取締役社長:福永健司、札幌市)(以下、当社)は、本日より、抗体アレイを使用したタンパク質発現量同時測定の受託サービスを開始いたしますので、お知らせいたします。

【概要】

抗体アレイは、少量のサンプルで一度に複数のタンパク質発現量の測定ができ、標的タンパク質特定スクリーニングに適したツールです。培養細胞を用いた薬剤添加前後や実験動物の血中濃度の変化など、対照試料に対する被検試料の特定タンパク質の発現量を、目視であるいは相対値として観察することができます。

当社では、従来から、Luminex®システムを使用した多項目のタンパク質同時定量が可能な受託サービスを行っております。この度開始する『抗体アレイによるタンパク質発現量同時測定受託サービス』は、Luminex®システムを用いる測定に比べ、より安価でより簡便に、多くの特定タンパク質発現量を観察できるサービスとして紹介するものです。多項目同時定量前に、発現変化が認められるタンパク質をこの抗体アレイによって事前に特定し、定量を実施する前にターゲットを絞り込むための測定方法として、新たな研究推進に貢献できると考えております。

また、当社では、遺伝子解析領域において、Affymetrix® GeneChip® を使用した多数の遺伝子発現量の測定(遺伝子アレイ/Gene Array/GeneChip)受託サービスを行っております。本サービスを追加することによって、遺伝子ならびにタンパク質という生体に重要かつ代表的な分子を、さらに両面から解析できるサービスの充実を目指すものであります。

【ご参考】

抗体アレイ: 抗体アレイ試薬は、R&D Systems社(米国)が販売するProtein Profiler™を使用いたします。この試薬はニトロセルロースメンブレンベースの抗体アレイです。メンブレン上に各種抗体がスポットされており、化学発光によって、同一サンプルから最大119種類のタンパク質を同時に検出できます。サイトカインやケモカインをはじめ、アディポカイン、血管新生、アポトーシス、細胞ストレス、幹細胞マーカー、リン酸化キナーゼなど、多くの研究領域のタンパク質の検出が可能です。ウエスタンブロッティング法では高コスト・長時間をかけて得るデータ量を、抗体アレイを用いることによって低コスト・短時間で得ることができます。

【株式会社ジェネティックラボについて】

2000年、北海道大学発バイオベンチャー第一号として設立。常勤の病理医が在籍し、病理診断技術と分子生物学関連技術を駆使したサービスを展開。個別化医療の実現に向け、バイオマーカーの探索・評価技術の揮発やコンパニオン診断薬等、医療に直結する製品・サービスの開発を支援します。

お問い合わせ先

株式会社ジェネティックラボ 先端医療事業本部

〒060-0009 北海道札幌市中央区北9条西15丁目28-196 札幌ITフロントビル3F

E-MAIL: info@gene-lab.com <http://www.gene-lab.com/>